

鮭川出張所河川愛護モニター通信Vol.57

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。



川の水は冷たくすきとおっていました。流れは弱くゆるやかでした。ゴミも少なかったです。
季節によって川の水の冷たさは、どれくらい変わるのだろうか？

回答

冬が近づくにつれて気温が下がってくると、川の水温も下がっていきます。以上の事から、川の水温変化は気温が関係していると考えられます。

その他にも日射量(太陽の光の量)や日照時間(太陽が当たっている時間)、降雨・降雪、ダムの放流などで水温が上がったり下がったりする事が考えられます。

川の水温変化に関係していると考えられるもの

自然的要因「人間の手の加わらないもの」
気温・日射量・日照時間・降雨・降雪など

人為的要因「人間の手が加わったもの」
ダムの放流など

新庄河川事務所では毎月河川水の状況を調べています。

これは令和3年度の鮭川(八千代橋周辺)の水温の変化をグラフにしたものです。



ちなみに、川の水がすきとおって見えたのは・・・

寒くなってくると水温も低くなり、日照り時間も短くなります。すると、川にいるプランクトン(※水中に浮かんでいる小さな生き物)が減少し川の水が透明になります。また、夏場よりも農業用排水がなくなり、土砂などが川に流れ込まないため川の水がきれいに感じたのかもしれませんがね。

環境委員会のみなさん報告ありがとうございました😊